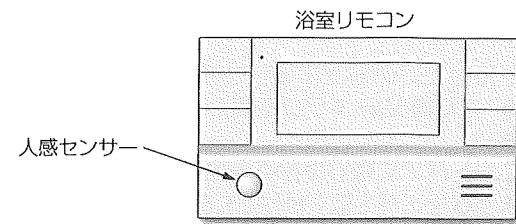


ご注意

〔人感センサー付浴室リモコン〕

- 人感センサーの表面を強く押さないでください。
- 人感センサー部には傷、汚れを付けないでください。故障の原因になります。



台所リモコン

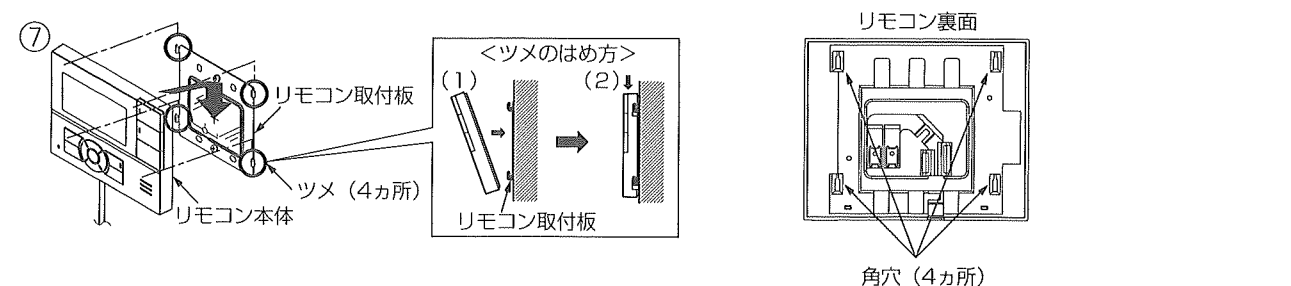
■台所リモコン取付け前の注意

取付け場所

- 台所に取付けるのが標準ですが、次の場所は避けて取付けてください。
- 台所リモコンは浴室内には絶対に取付けしないでください。防水構造ではありません。
 - ガステーブル・こんろなどの燃焼機器の近くやIH調理器の上などには、取付けしないでください。熱により、故障の原因になる場合があります。
 - 直射日光の当たる場所や、水しぶき、蒸気、油、水滴のかかる場所には取付けしないでください。故障の原因になります。
 - 凹凸のある壁面には取付けしないでください。変形して故障の原因になります。
 - 無線子機を有するドアホン機器や、電子レンジなどの電波を発する機器、テレビなどの電化製品の近くは避けて取付けてください。上下左右は20cm以上離して取付けてください。（取付壁内部に金属がある場合は、十分離してください。）
 - インターホンリモコンの場合、浴室リモコンと同一の壁や浴室リモコンと近接するところには、取付けしないでください。（ハウリングを起こす可能性があります。）

■壁面に取付ける場合

- ①台所リモコン裏面のリモコン取付板上部をリモコン本体に押し付けながら「ストッパー」(2カ所)に乗り上げるようにして下側にスライドさせてはずしてください。
- ②壁面にリモコン取付板を付属の皿木ねじ(φ4×L30)2本で固定してください。
- ③リモコンの裏面にあるケーブル口をニッパなどであけてください。
- ④リモコンコードの被覆を右図のようにむき、付属のY型端子を圧着してください。
- ⑤リモコンコードのY型端子を端子ねじに接続してください。（長い方をA、短い方をBへ）
- ⑥リモコンコードをリード線留め(2カ所)に通して固定し、溝に沿わせてケーブル口まで通してください。
※リモコンコードが溝からはみ出ないよう、ケーブル口は広めに切り欠いてください。
- ⑦先にリモコン裏面の下側の角穴(2カ所)をリモコン取付板の下側のツメ(2カ所)に差し込んでから上側2カ所をはめて下側に「パチン」と音がするまでスライドさせてください。このとき、壁面とリモコン上部に大きなすきまがないことを確認してください。リモコンをはずす場合は、リモコン下部を手前に軽く持ち上げながらリモコンを上をスライドさせてください。



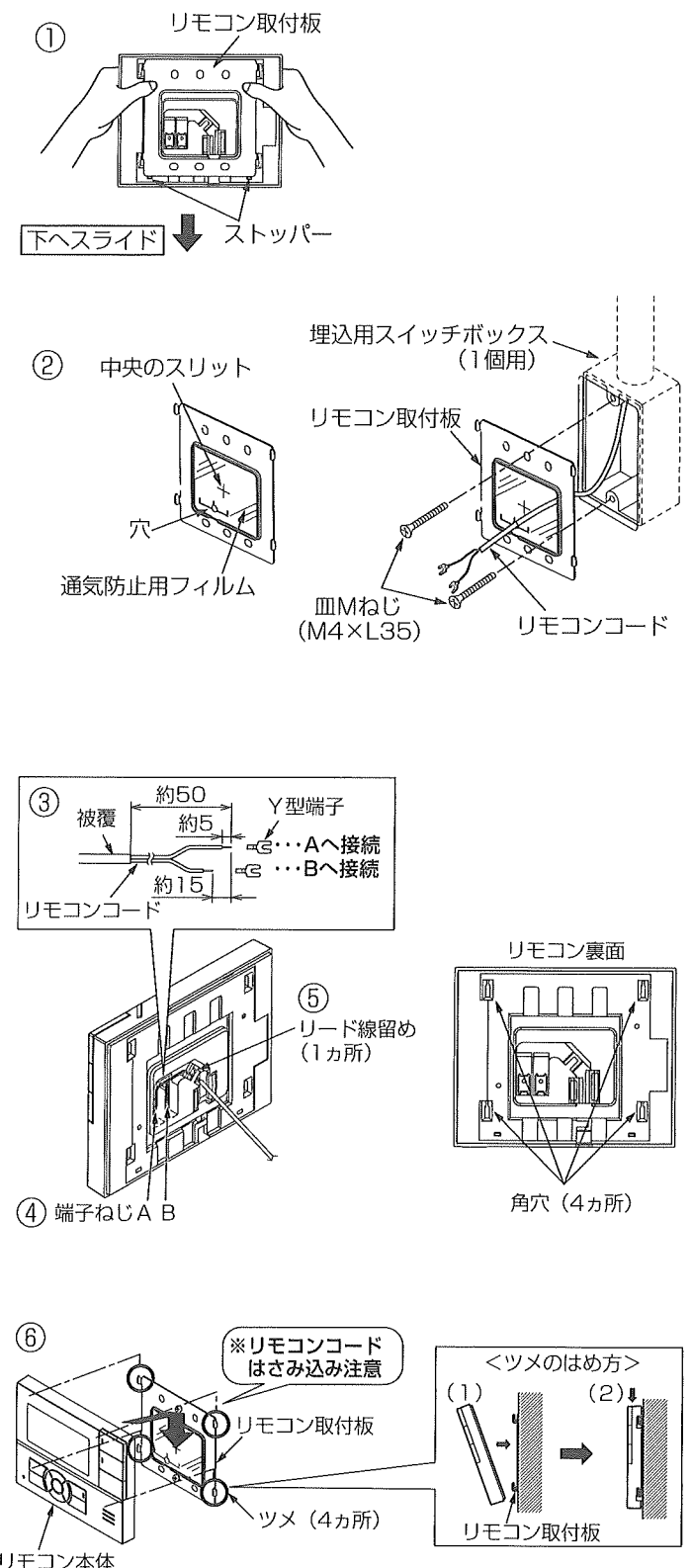
■壁内のスイッチボックスに取付ける場合

- ①台所リモコン裏面のリモコン取付板上部をリモコン本体に押し付けながら「ストッパー」(2カ所)に乗り上げるようにして下側にスライドさせてはずしてください。

- ②リモコンコードをリモコン取付板の通気防止用フィルム左下の穴より引き出し、リモコン取付板を付属の皿木ねじ(M4×L35)で埋込用スイッチボックスに固定します。
※リモコン取付板が壁面より深く沈み込むほど、深く締め付けないでください。正常に取り付けできなくなることがあります。

- ・左下の穴から引き出すことが難しい場合は、中央のスリット部からリモコン線を引き出してください。
- ・通気防止用フィルムに新たに切り込みを入れる場合は、カッター等を用い必要最小限のサイズのスリットを設けてください。

- ③Y型端子先端からリモコンコードの被覆までが50mm未満の場合は、リモコンコードの被覆を右図のようにむき、付属のY型端子を圧着してください。
- ④リモコンコードのY型端子を端子ねじに接続します。（長い方をA、短い方をBへ）
※リモコンコードの被覆はリード線留めまでむいてください。
- ⑤リモコンコードをリード線留め(1カ所)に通して固定してください。



■台所リモコンを前扉からはずして壁面などに取付ける場合（出荷時、台所リモコンが前扉についている機種）

- 付属の操作部シール板を機器本体に取り付けてください。取付け方法は工事説明書をお読みください。

浴室リモコン

■浴室リモコン取付け前の注意

取付け場所（全機種共通）

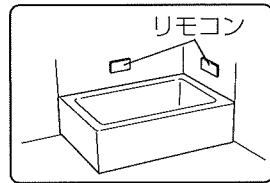
- 浴室のなるべくお湯や水のかからない場所に取り付けてください。多量のお湯や水がかかると故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所には取り付けないでください。故障の原因になります。
- 浴室リモコンは、平らな場所（面）に必ず取り付けてください。凹凸のある場所に取り付けると、リモコンが歪み、動作不良になる場合があります。
- 取付位置は浴室内のスイッチ操作がしやすく、表示が良く見える場所に取り付けてください。
- 鉄筋や柱が壁の中を通っているところには取り付けないでください。
- インターホンリモコンの場合、台所リモコンと同一の壁や台所リモコンと近接するところには取り付けないでください。（ハウリングを起こす場合があります。）

〔フルオートインターホンリモコン（人感センサー付）のみ〕

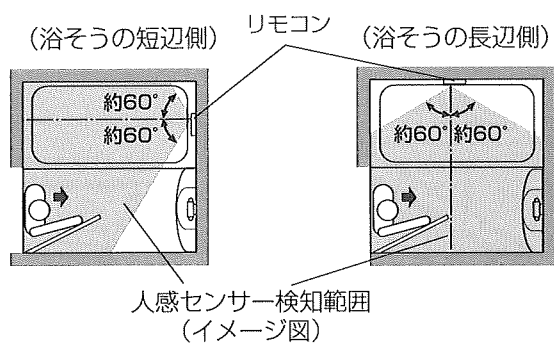
- 浴室に入浴者が入ったことを検知する人感センサーが搭載されています。
 - ・人感センサーが正しく検知するように、推奨例および本書記載の人感センサー検知範囲を参考にして取り付けてください。

取付位置推奨例〔フルオートインターホンリモコン（人感センサー付）のみ〕

- 浴室リモコンは右図のように、浴そうの短辺または長辺壁面の中央付近に取り付けてください。
 - 中央付近に取り付けできない場合は、リモコンを左右にずらして取り付けてください。

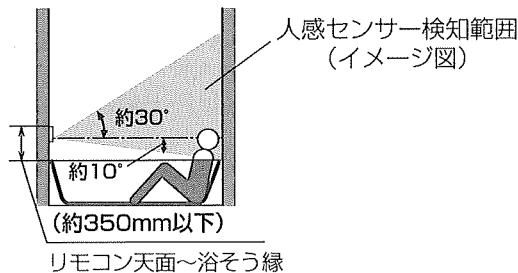


〈上から見た図（入室時）〉



〈正面から見た図（入浴時）〉

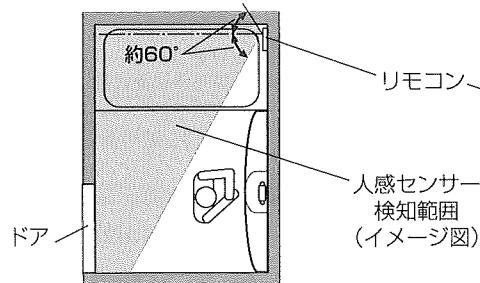
- 浴室リモコンは目線の高さとなるように取り付けてください。



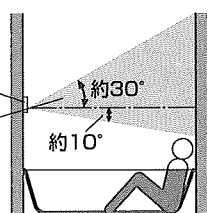
入浴者を正しく検知しない例〔フルオートインターホンリモコン（人感センサー付）のみ〕

- 浴室リモコンを広い浴室のすみや目線より高い位置に取り付けると、入浴者を検知しない場合があります。

（広い浴室のすみに取り付けた場合）

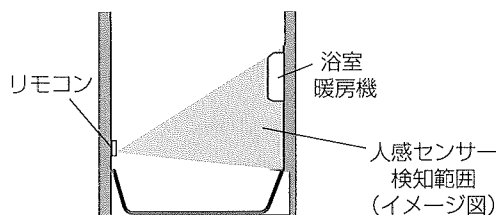


（目線より高い位置に取り付けた場合）

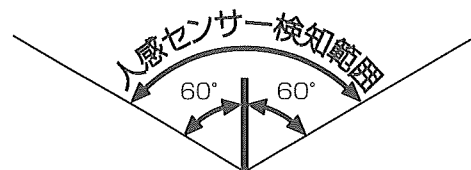
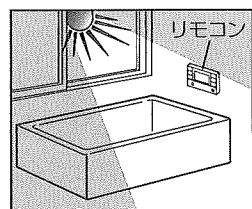


- 人感センサー検知範囲に浴室暖房機などの発熱体があると、入浴者がいないのに誤検知する場合があります。

（浴室暖房機が検知範囲に入る場合）



（窓が開いた状態で直射日光が当たる場合）



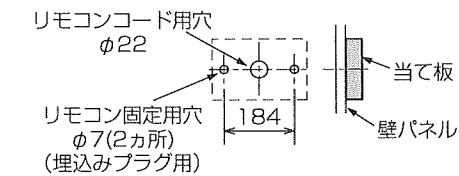
【参考】〔フルオートインターホンリモコン（人感センサー付）のみ〕
本書を使用することで人感センサー検知範囲を確認することができます。

■壁内配線の場合

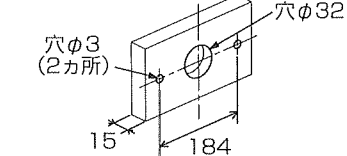
取付け方法

- ①壁面にリモコンコード用穴（φ22）とリモコン固定用穴（φ7）をあけてください。
- ②タイル仕上げの浴室に取り付ける場合は、①であけたφ7穴に埋込みプラグを差し込んで取り付けてください。
ユニットバスに取り付ける場合は、壁面裏側に右図のような当て板を取り付けてください。
- ③連結パイプの長さを右図の寸法に切断してください。
- ④連結パイプを浴室リモコンに取り付けてください。
- ⑤リモコン下部にある切り欠き（3カ所）にマイナスドライバーなどを差し込んで軽く回してすきまをあけ、化粧カバーを軽く引き上げて化粧カバーをはずしてください。
- ⑥リモコンコードと浴室リモコンから出ているリード線を結線してください。
- ⑦リモコン背面の接着テープのシールをはがし、リモコンが水平になるように壁に貼り付けてください。

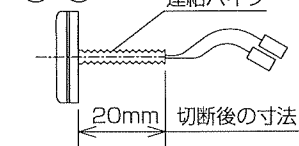
① 〈壁面穴あけ寸法〉



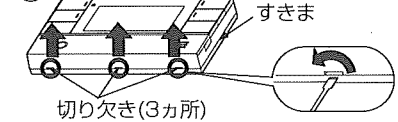
② 〈当て板寸法〉



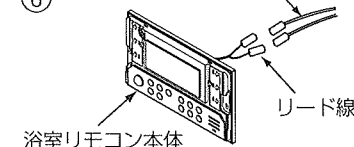
③ ④



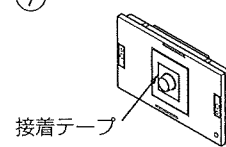
⑤



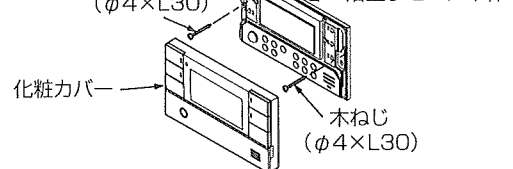
⑥



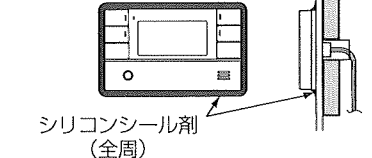
⑦



⑧ ⑨



⑩



■壁貫通配線の場合

- ※別売品の浴室リモコン連結パイプ（リモコンカバー）UKW-1が必要になります。
- 別売品のUKW-1に付属の取付説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 壁厚が20cm以上のときは、別売部品のリモコン厚壁延長パイプ（UKB-4A：壁厚20～36cm）を利用してください。
リモコン厚壁延長パイプを使用する場合は、先にリモコンコードを延長した連結パイプに通し、浴室リモコンから出ているリード線と結線してから、取り付けをおこなってください。
- ユニットバスなどの壁パネルにリモコンを取り付ける場合は、当て板（厚さ15mm）を壁パネル裏側に取り付けおいてください。

